

# 楽しいひと夏の思い出の一日

芽生え幼稚園  
お泊り保育

## みんなで仲良く夏の思い出づくり

夏休みの楽しい思い出や家庭から離れ園児の自立心とコミュニケーション力を養うことを目的に城陽市寺田大

谷の芽生え幼稚園（西岡京子園長・園児126人）が9日から一泊二日の「お泊り保育」を行い、年少、年中、

年長のゆり組園児が魚釣り、ヨーヨー、カキ氷、玉入れなどのお店を出店。元気な「いらっしゃい、いらっしや

い」の呼び声に年中、年少の園児はお兄さん、お姉さんのお店で、買い物を楽しんだ。

午前10時から園庭で年長のゆり組園児が魚釣り、ヨーヨー、カキ氷、玉入れなどのお店を出店。元気な「いらっしゃい、いらっしやい」の呼び声に年中、年少の園児はお兄さん、お姉さんのお店で、買い物を楽しんだ。

園に戻った夜にも花火や歌のキャンプファイヤーで夏休みの思い出を一杯につくっていた。

園に戻った夜にも花火や歌のキャンプファイヤーで夏休みの思い出を一杯につくっていた。

園に戻った夜にも花火や歌のキャンプファイヤーで夏休みの思い出を一杯につくっていた。

園に戻った夜にも花火や歌のキャンプファイヤーで夏休みの思い出を一杯につくっていた。

園に戻った夜にも花火や歌のキャンプファイヤーで夏休みの思い出を一杯につくっていた。

園に戻った夜にも花火や歌のキャンプファイヤーで夏休みの思い出を一杯につくっていた。

園に戻った夜にも花火や歌のキャンプファイヤーで夏休みの思い出を一杯につくっていた。



お泊り保育で園児たちが喜んだバイキングの昼食

西岡園長は「このお泊り保育で、日頃おとなしい子も活発に先生や友達と打ち解けて話すようになります。子どもたちは親元を離れた寂しさも見せずに楽しんでいきます。むしろ保護者の方が子供さんのことが気になるようです」としっかりといていく園児に目を細めていた。

お泊り保育に参加した園児たちは10日の昼過ぎに親元を離れ過ぎた経験を胸にチョッピリたくましくなって帰宅する。